



梅の薫製商品化へ

美郷薬草研 健康特産品第2弾

吉野川市の美郷薬草研
究会は、健康を売りにし
た特産品開発の第二弾と
して梅の薫製「烏梅」を
作った。近く、商品化す
る。

会では美郷古井に作業
場を設置。ドラム缶とコ
ンクリートブロックで造
った高さ約二メートルの煙突三
本の上に網を置き、酸味

煙でいぶして烏梅を作
る会員＝吉野川市美郷
古井

の強い品種・鶯宿（おしりょうく）の青梅
約千百個を乗せて、ヨモ
ギなどの草を燃やした白
い煙を送り続けた。

作業は十八日から八日
間、会員八人が午前八時
から午後十時まで、ロー
テーションを組んで取り

組んだ。出来上がった烏
梅は総重量五・六キ。中
まで煙の成分が入り、上
々の出来という。

烏梅は生薬として鎮痛
や解熱の効果があるとさ
れるが、薬事法などの規
制があり、販売方法を検
討している。